

ガールスカウト自然観察会

昭和の森のトンボ

山下美佐子（東金市）

日 時：2011年8月6日（土）9:00～11:30 天候：晴れ

参加者：21名（子ども17名、大人10名）

担当指導員：佐野由輝・山下美佐子

午前9時、ガールスカウトたちは、セミの大合唱に迎えられて昭和の森ユースホステル広場に集まつた。10人のお母さんたちもトンボに興味津々で参加。観察の前に、まずは危険な植物、ツタウルシ、スズメバチに出会ったときの注意について話す。

そして今日のテーマ「トンボ」の捕まえ方の実演。スカウトたちは実演のとおりに、[後ろから網をトンボにかぶせる→網の底を上に持ち上げる→トンボが上に上がる→取り出し、チョキでトンボの羽をもつ→昭和の森赤とんぼ検索図で名前とオス・メスを確認→すぐに離す]を繰り返して、トンボの名前、雄、雌の見分け方などをマスターした。

林縁では、ナツアカネ、ノシメトンボ、マイコアカネ、マユタテアカネなどが観られた。菖蒲田の開けた場所でオオシオカラトンボ、シオカラトンボを見つけた。オニヤンマは、空高く飛んでいるが、時々凄いスピードで私たちの間を横切ったりするので、あわてて網を振り回すが、赤トンボの仲間のようには捕まえられない。残念！！ 中菖蒲田林縁で、ヤゴの抜け殻を発見。オニヤンマの抜け殻だ。「オニヤンマはヤゴで3～4年水中生活をし、ようやく地上に出て羽化したんだよ」。「羽化して成虫になつたら交尾をし、長くて3ヶ月位で死んでしまうよ」と話す。下夕田池ではたくさんのアオモンイトンボが飛んでいた。交尾中もいる。カップレンズの中で青緑に輝くアオモンイトンボを観て、きれいーと目を輝かせた。捕まえたチョウトンボが1ミリほどの卵を産卵し、しっかりと観察できた。ショウジョウトンボ、コシアキトンボも観られた。

1年生から6年生までのスカウトたちの感想は、<オニヤンマは大きかった、場所ごとにちがうトンボがいた、いろんなトンボがいて驚いた、赤トンボにはたくさんの種類がある、チョウトンボを捕まえた、イトンボを初めて見た>など、たくさんのトンボを捕まえたり、名前を知ったりして

大満足の感想だった。特に低学年は、終齢になつてないキリギリスやバッタ、カマキリもあちこちでぴょんぴょん跳ねて、大喜びでした。

お母さんたちは、日頃見られないヤマユリ、キツネノカミソリの花の見ごろを楽しんでいた。ヨシの葉での草笛、カタバミで10円玉磨きなどの草花遊びも楽しんで観察会を終えた。

